

## 書籍のご案内

### ISO 18436-7 機械設備の状態監視と診断 赤外線サーモグラフィ カテゴリー I 2016

編集：(一社)日本非破壊検査協会 編集委員長 山越孝太郎

体裁：A4版, 246頁

発行：平成28年10月15日

定価：本体8,000円+税(送料別)

ISO 18436-7「機械設備の状態監視と診断-診断技術者に対する要求事項-赤外線サーモグラフィ (Condition monitoring and diagnostics of machines -Requirements for qualification and assessment of personnel-Part 7: Thermography)」では、赤外線サーモグラフィ試験を実施する診断技術者をカテゴリーI～Ⅲの3段階に規定している。本書はカテゴリーIの診断技術者のための訓練シラバスに準拠したテキストとして編集された。

カテゴリーIで要求される力量は、適正なデータ測定を行うために必要な熱画像装置の準備及び操作が行える事など、技術者として最も基本的な内容となっている。赤外線サーモグラフィ試験に関する資格認証は、先行して(一社)日本非破壊検査協会 NDIS0604「赤外線サーモグラフィ試験-技術者の資格及び認証」が2012年春期から開始されている。NDIS0604は、特定の分野・用途を定めず広く赤外線サーモグラフィ試験全般を扱うのに対し、ISO18436-7は機械設備の状態監視と診断に分野を限定している点が大きく異なる。このため、機械設備関連により深く専門的に踏み込んだ内容となっている。特に原子力発電所では、既に機械設備の状態監視に、ISO 18436-2 振動診断技術者と ISO 18436-4 潤滑診断技術者の資格認証制度を導入して運用しており、赤外線サーモグラフィ診断技術者の資格認証制度の導入も長いあいだ待望されてきた。

今般、(一社)日本非破壊検査協会が本資格認証制度の運営を開始することで、十分な力量を身に付けた技術者方々が赤外線サーモグラフィ試験を更に発展させていくことを期待している。

(はしがきより抜粋)